

令和7年第1回市議会定例会

提出予定議案 概要等

令和7年2月18日



これまでの4年間

- ▶ コロナ禍に始まり、大雨や大地震などの災害に対し、迅速に対応
- ▶ 一方、北陸新幹線開業を活かす賑わい創出、産業創生による活力向上、子育て政策の充実など目標となる都市像(ビジョン)を示し、市の持続的な発展に向けたまちづくりも並行して展開

若い世代の流れを変える 好循環のまちづくり を実践

- ▶ 若い世代の人流を変え、定着させることが好循環の起点であり、本市発展のカギ
- ▶ ビジョン実現に向け、好循環を生み出す「都市経営」と中長期視点に立った「行政経営」に取り組む

都市経営 - ウラ日本からの新たなまちづくりに挑戦 -

若者や女性が働ける産業構造をつくる
都市機能や地域資源を活かし、人流・物流を創出
生活環境の充実、質の高い生活空間をつくり上げる

行政経営 - 先送りしない行政体質への転換 -

山積する課題や社会ニーズに対応できる財政基盤の構築
公共施設マネジメントの具体的展開、政策制度を柔軟に見直し
DX推進によるサービス向上と業務効率化
5バリューを体現する市役所組織づくりと市職員の育成

令和7年度は
「準通年型予算(骨格予算)」
(年度当初より必要となる予算を計上)

- ・人件費・扶助費・公債費
 - ・施設の維持管理など一般的な経費
 - ・継続実施中の国・県補助事業
 - ・災害からの復旧・復興事業
 - ・市民生活に密着した継続的な事業
 - ・早急な対応が必要な事業
- ※判断を要する新規の政策的事業は除く

予算額

一般会計	特別会計	企業会計	全会計
538億1,000万円	282億1,610万円	287億2,410万円	1,107億5,020万円

世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

都市基盤・交流拡大

・粟津駅東側ラウンドアバウトの整備

Ⓟ 粟津駅周辺整備費 2億9,300万円

・自動運転バスレベル4に向けた高度化ほか

Ⓟ 小松駅・空港間自動運転バス運行費 9,450万円

・小松市ライドシェアi-Chanの運行

Ⓟ 公共ライドシェア運行費 3,160万円

・こまつ地域交通プラン(R3策定)の見直し

Ⓟ 地域公共交通再構築費 1,100万円

・まち乗り電動アシスト自転車のシェアリング

こまつシェアサイクル管理運営費 900万円

・交流の拠点としてオープンした「Komatsu 丸」の運営

観光交流センター管理運営費 6,368万円



・「ローカルジャパン展」に富山県南砺市と共同出展
(南砺市:井波彫刻, 小松市:九谷焼)

Ⓟ 大阪・関西万博出展費 730万円

・MICEや教育旅行など市内宿泊を伴う全国大会等の運営支援

市内コンベンション開催支援費 1,220万円

・オープンファクトリーの開催, 産業観光の推進ほか

産業観光推進費 1,810万円

...etc



Ⓟ スライド

Ⓝ 新規

Ⓜ 拡充

産業創生

- ・R7.3までに操業予定企業への立地助成金
- ・民間等を活用した企業誘致活動の推進

企業誘致推進費 6,310万円

- ・北電ビル「ウレシヤス小松」5階にオフィスフロアをオープンし、
- ・新たな産業創生の拠点に

⑨ ① 小松駅東地区複合ビル 4,630万円
 ⑨ ① オフィスフロア運営費 (債務負担行為) 18億3,345万円

- ・オフィス誘致により女性の活躍や新産業創出を推進

サテライトオフィス立地推進費 1,000万円

- ・造成に向けた用地取得

花坂地区産業団地整備費 1億4,000万円
 (産業団地会計)

- ・土質調査, 基本設計, 水道管管網解析

向本折地区土地区画整理費 8,970万円
 (産業団地会計)

- ・こまつスタートアップラボによる起業家育成を支援
- ・空き店舗・空き家を活用した創業支援

⑨ スタートアップ企業等創業支援費 2,320万円

- ・DXに取り組むため選定されたモデル事業者のコンサルタント費用を助成し、取組事例を創出

DX推進伴走支援モデル事業 750万円

…etc

農林水産業

- ・学校給食に小松産ブランド米や野菜を提供

地産地消・食育推進費 660万円

- ・新商品開発や資格取得, スマート農業等の取組みを支援

強い農業ひとづくり支援費(一部) 800万円

- ・農業者の経営努力では避けられない自然災害等のリスクに備えるため,収入保険の加入を促進

収入保険加入促進事業費 460万円

- ・当初計画の50年経過を目前に, 収益化できる地区とそれ以外を区分するため, 現況調査等を実施

⑨ 市行造林費 1,000万円

…etc



子どもたちの輝く未来創造都市こまつ



出産・子育て

- 動画やSNSを活用し、プレ妊活健診の推進や、若者への妊娠に関する健康管理等の大切さを啓発

プレコンセプションケア推進費	378万円
----------------	-------
- 子ども1人あたり妊娠時に10万円、出産時に5万円を支給

おなかの赤ちゃん給付金費	7,800万円
うまれた赤ちゃん給付金費	3,900万円
- 小松駅周辺で子どもを預かり、こども園や学童クラブへ送迎する拠点を運営(カブッキーランド)

こども預かりサービスステーション費	1,778万円
-------------------	---------
- 悩みを抱える児童に向け「龍すけポケット」を開設

(P) こどもの居場所づくり支援費	1,560万円
-------------------	---------
- 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種期間の延長 ほか

予防接種費(一部)	2億6,300万円
-----------	-----------
- R6.10月からの制度変更(対象年齢を18歳に引上げ, 所得制限撤廃, 第3子以降加算の引上げ等)の通年化

児童手当給付費	22億円
---------	------
- 8園に改修費を助成

私立こども園等整備費補助金	1億6,986万円
---------------	-----------
- 園舎, 園庭の設計

(P) 認定こども園たしむち整備費	3,088万円
-------------------	---------

…etc

教育・スポーツ・文化

- 小中学生全員のタブレット端末を更新 ほか

(P) ICT教育環境推進費	6億7,670万円
----------------	-----------
- 学校給食の食材料費調達等

学校給食費	6億1,526万円
-------	-----------
- 学校の空調復旧や外壁改修 ほか

小学校校舎等改修費	5億8,825万円
中学校校舎等改修費	1,000万円
(3月補正)	730万円
- 小中学校施設の環境を改善(遊具, 安全対策, 教育活動の充実等)

安全・安心な学校づくり費	2,900万円
--------------	---------
- 英語賞, 英検受験費用全額助成(中2・3)ほか

英語力向上費	1,254万円
--------	---------
- 中学校部活動の地域移行に向けた実証事業

部活動地域移行推進費	1,000万円
------------	---------
- R8新入生のタブレット端末更新や, 外部講師・高大連携による授業の実施

市立高校活性化推進費	2,293万円
------------	---------
- 大学等進学に係る貸与型奨学金

未来を広げる奨学生支援費(一部)	421万円
------------------	-------

…etc

誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

医療・介護・福祉・健康

・市民病院本館建替えに向けた基本計画

新 **Ⓟ** 新病院建設基本計画策定(病院会計) 2,200万円
システム更新に合わせ, AIを活用した業務効率化や,
セキュリティを強化

Ⓟ 電子カルテシステムの更新(病院会計) 13億5,000万円

・带状疱疹ワクチンの定期接種化 ほか

Ⓟ 予防接種費(一部) 2億3,800万円

・高齢者の公衆浴場利用助成回数の拡大(15回→20回)

拡 **Ⓟ** 公衆浴場活性化推進費 1,320万円

・温泉施設利用時の支援(1,000円/人)の追加 ほか

拡 **Ⓟ** 老人クラブ活動費補助金 1,950万円

防災・減災

・地域防災計画の改訂及び備蓄計画の策定 ほか

Ⓟ 防災体制強化費 4,837万円

・耐震改修, 耐震診断等へ助成 ※一部復興基金活用

Ⓟ 住宅安全向上費(一部) 9,320万円

仮設住宅に入居の被災者が恒久的な住宅に入居する際の
初期費用を助成※復興基金活用

新 **Ⓟ** 住宅再建支援費(災害) 250万円

・地域コミュニティ施設, 自治公民館等の復旧支援※復興基金活用

Ⓟ 町内会等施設整備支援(災害) 7,000万円

・西出張所庁舎の実施設計

Ⓟ 中消防署西出張所整備費 2,350万円

同時多発的に発生する事案にも, 効率的な情報管理を
実現させる最新システムに更新

Ⓟ 高機能消防指令システム整備費 3億9,730万円

・緊急治水対策プロジェクトにより内水対策を強化

Ⓟ 石橋川遊水地整備(下水会計) 7億1,800万円

・短期・中期の段階的な対策計画を策定

Ⓟ 雨水総合管理計画策定(3月補正) 3,000万円

暮らし

・施設利用者駐車場の増台工事

Ⓟ 市民センター改修費 2億1,420万円

物価高騰対策

・R6住民税非課税世帯へ3万円給付(子ども1人あたり2万円加算)

Ⓟ 物価高騰緊急支援給付金(1/6専決) 3億1,000万円

・R6定額減税等に該当しなかった方への給付金

物価高騰緊急支援給付金 2億1,480万円

貨物・旅客運送事業者, 一般廃棄物収集運搬業者, 福祉施設等
の車両に係る燃料費への助成

Ⓟ 原油価格高騰対策事業者支援費 4,800万円

・国交付金を活用し自己負担額の抑制により, 接種推進

Ⓟ 高齢者予防接種自己負担額の抑制 2,000万円

自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

文化振興

- ・舞台装置のデジタル化, 施設の長寿命化改修実施設計ほか (R9.7リニューアル予定)
- ◎(P) 芸術劇場大規模改修費 8,860万円
- ・白山信仰関連遺跡としての「那谷寺遺跡」遺跡調査 ほか
こまつ歴史回廊調査費 419万円
- ・R7.5上旬 曳山子供歌舞伎上演:龍助町ほか
お旅まつり開催費 3,833万円
- ・R7.5.4~5 日本こども歌舞伎まつりin小松開催
團十郎巡業公演 ほか
歌舞伎のまちこまつ推進費 2,172万円
...etc



環境保全・里山里湖・ゼロカーボン・廃棄物

- ・森林環境譲与税の活用 (人工林整備・支障木伐採・松くい虫対策ほか)
- 森林環境保全推進費 3,700万円
- ・サル対策として電気柵等設置に対し助成
鳥獣総合対策費(一部) 100万円
- ・公用車4台をEVなどの環境配慮自動車に更新
公有財産管理費(一部) 1,540万円
- ・再生可能エネルギー普及や地域環境活動を支援
脱炭素・環境活動推進費 1,400万円
- ・指定袋制度の運営, リサイクル率向上に向けた助成
ごみ処理機等の購入補助
- ごみ減量化・リサイクル推進費 8,310万円
...etc



スマートシティ・スマート市役所

・コンビニ交付手数料引き下げ, 南支所にマルチコピー機設置 ほか

④⑤⑥ (P) コンビニ交付推進費 230万円

・戸籍に氏名の振り仮名を記載

戸籍振り仮名記載推進費(3月補正) 3,400万円

・建物解体・土地の住宅利用条件付きでマイナス価格で入札し売却(旧小野保育所)

公有財産跡地活用推進費 4,520万円

・紙媒体で保管・保存されている市公文書の電子化推進

文書管理事務電子化等推進費 300万円

・新たな返礼品の開発等により, 全国へPRを展開

(P) ふるさと納税の推進 (歳入) 6億円

・健全な財政基盤のため, 減債基金等を活用

市債の繰上償還(3月補正) 2億5,620万円

…etc



生涯学習・スポーツ

・複合施設整備に向けたPFI事業者選定, 旧施設の解体 ほか

(P) 未来型図書館づくり推進費 4億2,410万円

・アリーナ空調新設, 床全面改修, 非常用発電設備等更新

末広体育館改修費 4億1,630万円

・地区体育館, 東部地区屋外運動施設照明LED化 ほか

スポーツ施設整備費 1億1,600万円

…etc

災害復旧

・第一分区, 松陽分区 ほか

(P) 下水道管路等の災害復旧(下水会計) 6億5,100万円

・末広陸上競技場・末広屋外水泳プール

(P) 小松運動公園の災害復旧 3億2,445万円
(3月補正) 955万円

・九竜橋川排水路の災害復旧費の追加

(P) 農業用排水路の災害復旧(3月補正) 6,900万円

…etc

➤ 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨犠牲者追悼式

- ・開催日：令和7年1月1日（水）
- ・開催場所：学校法人日本航空学園能登空港キャンパス体育館（輪島市）



提供：石川県

➤ 本市の状況

(1) 被害状況（令和7年1月31日現在）（人）

人的被害	死亡	重傷	軽傷	合計
	1※	1	1	3

※災害関連死

（棟）

住家被害	全壊	半壊	一部破損	合計
	1	80	11,528	11,609

(2) 罹災証明書等の発行等（令和7年1月31日現在）

- ・罹災証明書及び被災届出証明申請受付 1月3日開始（12,884件）
- ・住宅の応急修理等についての相談受付 1月3日開始（1,044件）
- ・被災証明書（農林漁業者及び被災事業者対象） 1月4日開始（601件）
- ・災害廃棄物の受入 1月4日開始（1,252台，850+）

(3) 災害義援金の配分状況（一次～四次）（令和7年1月31日現在）

- ・人的被害 + 住家被害 合計 約20億2600万円

市政 令和6年能登半島地震の状況

～震災から1年の節目をむかえて～

➤能登地方への支援等の状況

(1) 広域避難者の受入れ状況

	世帯数		人数	
	ピーク時 (令和6年2月末)	令和7年 1月31日現在	ピーク時 (令和6年2月末)	令和7年 1月31日現在
ホテル・旅館	457	0	875	0
賃貸型応急住宅	47	114	120	293
親戚・知人宅等	79	137	114	189
合計	583	251	1,109	482

(2) 被災地への職員派遣状況

区分	派遣期間	派遣先	派遣業務	派遣人数
能登半島地震	令和6年 1/1～7/22	輪島市・珠洲市・ 七尾市・穴水町 など	消防広域応援・ DMAT活動・応急危 険度判定・応急給 水活動・家屋被害 認定調査など	延べ327人
奥能登豪雨	令和6年 9/21～11/25	輪島市・珠洲市・ 能登町など		延べ174人
合計				延べ501人

※中長期派遣 (R6.10/1～R7.3/31) 珠洲市 保健師1名

地域防災計画改訂の背景

石川県 地震被害想定の見直し

県地震被害想定調査

小松市に影響の大きい

福井平野東縁断層帯

森本・富樫断層帯 など9断層を対象



県地震被害想定調査対象断層

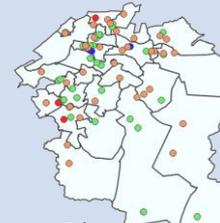
調査結果公表 (R7年度)

人的・建物・ライフライン被害, 生活機能支障など約40項目を定量評価

被害想定に応じた防災対策の充実

能登半島地震の課題と社会的要請

- 1 避難者数に応じた避難所の適正配置
- 2 避難環境の整備と被災者支援の強化
- 3 公的備蓄・個人備蓄・流通備蓄の充実



現在の指定避難所の配置



プライベートテントによる良好な避難生活環境の確保



改訂の進め方

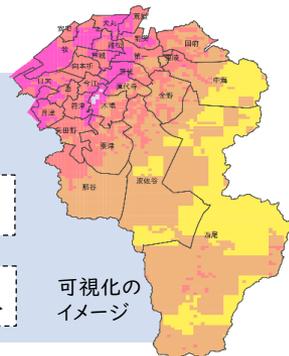
各種データの収集と分析 → 可視化

県新・被害想定データ

ハザード情報

避難所等の情報

校下等エリア情報



可視化のイメージ

小松市防災会議に専門委員会を設置

避難・備蓄

 等について

学識経験者・有識者等 約10名で検討

能登半島地震での被災インフラの復旧と今後の見通し①

予算額計：4億7,530万円
 (3月補正：7,855万円
 R7当初：3億9,675万円)

令和6年能登半島地震による道路・橋梁の復旧状況（これまで）

内容	被災箇所	復旧箇所	復旧率
道路・橋梁	141	124	87.9%

(令和7年2月1日現在)

➡ R6年度末までに概ね復旧完了



復旧前



復旧後

九竜橋川排水路・市道土居原下牧線の復旧状況（今後）

予算額：1億4,130万円
 (3月補正：6,900万円(農林)
 R7当初：7,230万円(道路))

被災直後R6.1月



現在R7.1月



① 九竜橋川排水路
 R6.10月より工事に着手済
 (~R7.6月まで)

② 市道土居原下牧線
 R7.7月より
 下水道、道路・舗装工事

R7年度中に道路供用

小松運動公園(末広陸上競技場他)の災害復旧費について

予算額：3億3,400万円
 (3月補正：955万円
 R7当初：3億2,445万円)



トラック陥没



観覧席のヒビ割れ

部分的な復旧工事により第2種公認
陸上競技場として復旧可能の見込



公認を目指し、設計・施工

災害復旧工事の見通し

災害復旧箇所図

仮設ポンプ設置状況



管路の被害状況

亀裂による漏水



たるみによる滞水



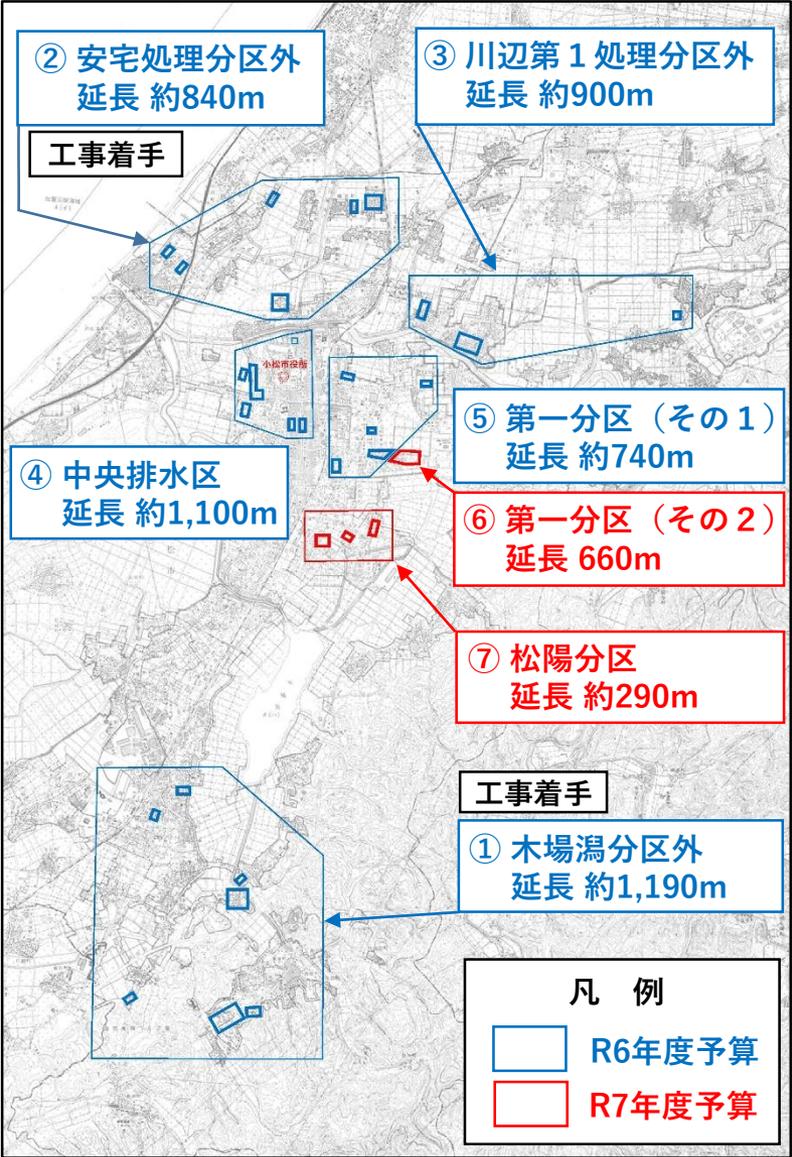
◇災害復旧概要

- 全体復旧延長 約 6.0 km ， 対象町内 32町内
- 全体災害復旧事業費 21億円余 [R6~R7]
- 令和6年度6月補正 約14.6億円
- 令和7年度当初 約 6.5億円
- ※水道管・ガス管の移設補償費を含む

◇災害復旧工事の現状と今後の見通し

- 着手済 : 2工区 (木場潟分区外, 安宅処理分区外)
- 年度内 : 3工区 (川辺第1外, 中央, 第一その1)
- 令和7年度 : 2工区 (第一その2, 松陽)

令和7年度中の災害復旧工事完了を目指す



令和6年能登半島地震復興基金を活用した災害復旧及び支援事業

◆被災した地域の活動拠点等の再建支援 予算額：7,000万円

- ・自治公民館再建支援事業【補助率：3/4】
被災した自治公民館等集会所の建替・修繕等
- ・地域コミュニティ施設等再建支援事業【補助率：3/4 上限額：1,200万円】
被災した地域のコミュニティ維持のために復旧を要する施設等の建替・修繕等
- ・共同墓地復旧支援事業【補助率：1/2 上限額：1,200万円/件】
通路や擁壁等共用部分の復旧，共用部分に倒壊した墓石の移設等

継続

◆被災住宅耐震促進事業 予算額：8,600万円

- ・耐震改修【補助額 上限額：住宅 250万円，共同住宅等 400万円】
- ・建替工事【補助額 上限額：住宅 180万円，共同住宅等 360万円】
【対象】耐震診断により耐震性がない住宅，共同住宅等

住宅180万円，共同住宅等360万円
まで個人負担なし

継続

◆被災宅地等復旧支援事業 予算額：8,000万円（繰越）

- ・宅地被害の復旧工事に対しての補助金
【補助額 上限額：766.6万円（対象工事費から50万円を控除した額の2/3補助）】

◆住宅再建支援費 予算額：250万円

- ・民間賃貸住宅への入居費用助成：敷金・礼金などの初期費用を助成 【支援額：一律20万円】
- ・公営住宅への入居費用助成：照明・コンロなどの初期設備費用相当額を助成 【支援額：一律10万円】
- ・引っ越し時の転居費用助成：応急仮設住宅等から恒久的な住まいへの引っ越し費用を助成
【支援額：一律10万円】

【対象】 ①半壊以上の被災をした世帯 ②敷地被害解体，長期避難世帯
③応急仮設住宅等から供与期間内に退去した世帯 ①～③のいずれかを満たす世帯

追加

市民や栗津駅利用者にとって、**駅をより使いやすく、**
交通機能の充実による **安全・安心なまちづくり**を推進!!

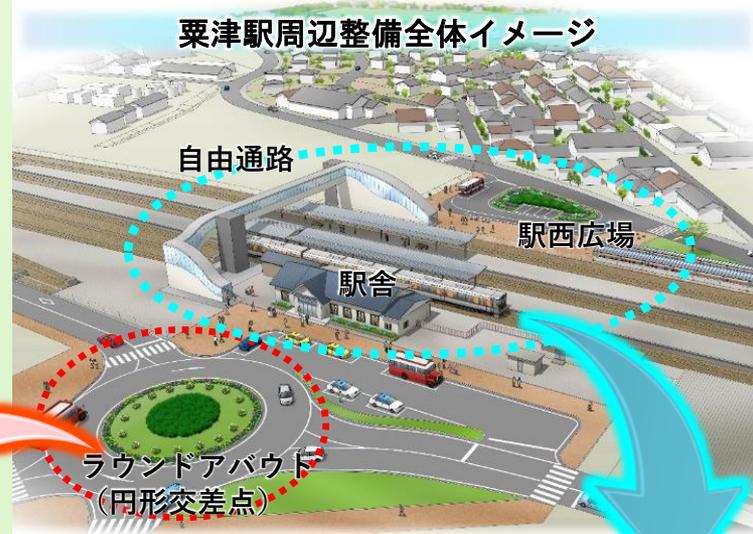
市内初

R7年度予定

➤➤ 駅前の複雑な交差点を **ラウンドアバウト**



時計回りの一方通行で
分かりやすく安全な交差点に改修



➤➤ 駅施設の
更なる **利便性向上**

IRいしかわ鉄道（株）と
新たに協議・検討を開始

鉄道利用者数の増加へ

新公共交通体系の構築に向けて

予算額：1,010万円
(国庫補助：500万円)

誰もが気がねなく“おでかけ”できる小松へ

課題

- 運転手不足・高齢化
- 路線バス利用者の減少
- 行政負担の増
- 高齢者の事故・免許返納・交通空白

“こまつ地域交通プラン” (R3策定) をアップデート

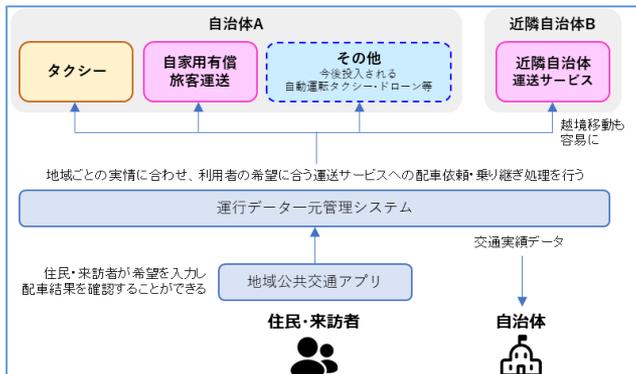
- ▶ 持続可能な交通サービス体系を構築
- ▶ 地域特性に応じた多様な交通サービスの組み合わせ
- ▶ 地域・事業者との共創 (ワークショップ開催)
- ▶ 地域のまちづくり等とのマッチング



小松市ライドシェア

予算額：3,160万円

タクシーとの共同運営サービスを導入 ▶ タクシーの配車が困難な場合に配車



自動運転バス

予算額：9,450万円
(国庫補助：4,205万円)

技術高度化と通年運行を実施

- ▶ 自動運転レベル4認可取得の取組推進
- ▶ 走行安定化に向けたシステム高度化・改善
- ▶ 路線バス運行を通じた評価検証・改善

【利用者数】 ※1月末現在
：3,619便走行、17,206人乗車 (約5人/便)

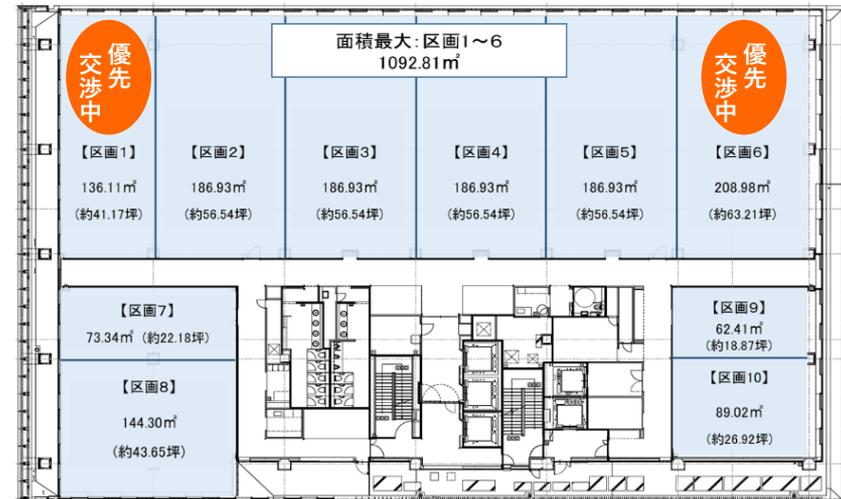
【路線バスとしての評価・満足度】 ※2024秋調査
：平均4.44点 (5点満点) 前回調査4.17点から増加



「ウレシャス小松」 オフィス誘致

予算額 4,630万円 [歳入 2,020万円]
(債務負担行為 18億3,345万円)

優先交渉権者の追加決定
リベラ株式会社 2社目
 本社：東京都渋谷区
 業種：情報サービス業
 業務内容：ソフトウェア開発等
 【交渉継続中】
 BPOセンター、メーカー商社、
 メタバース制作会社、映像制作
 会社 等



創業起業への支援事業

予算額 320万円

	こまつスタートアップラボ	地域未来創造塾
実施主体	小松市	小松商工会議所
目的	「こまつ創業塾」と連携し、起業家輩出、スタートアップ創出で地域経済活力の向上を図る。	地域課題をビジネスによって解決を図ることが目的、地域社会での社会起業人財の育成を図る。
内容	現役起業家が講師となり、ビジネスプランをブラッシュアップ。最終回ではピッチコンテストを実施。	グループ講義や演習を通して新たなビジネスプランを構築し、産学官金連携で事業実装のサポートを行う。



一歩踏み出す わたしの居場所

「龍すけポケット」

悩みを抱えるこどもが**安心して過ごせる居場所**を開設!



◆対象者 家庭環境に課題を抱える, 学校になじめない 等の悩みを感じている 主に**中高生世代**のこども

◆内容

- ・食を中心とした**生活習慣**の形成支援
- ・学習などのサポート
- ・**将来の進路**等の相談
(学校, 地域団体等の関係機関との連携) など



◆開所日時 (週3日)
月・水曜日 13時~18時
土曜日 11時~15時
※今後、拡大を検討中

◆場所 町家ハウス「Ryusuke」(龍助町77)

◆委託先 きらりラボ(共同企業体)

こどもが本来持つ主体性や創造力を発揮して
社会で活躍していけるような成長を後押し



公募型プロポーザルにより設計事業者を選定し、**基本設計・実施設計に着手**

設計コンセプト

～人やもの、自然との触れ合いのなか、遊び・学びをとおして、
こどもたちの好奇心や想像力をふくらませることができるこども園に～

安心して預けられる

NEW

病後児・体調不良児保育、
休日保育、など

教育環境が充実

NEW

幼保連携型認定こども園へ
運動、読書などの推進

子育て支援の拠点

未就園児童や保護者の交流、
相談や支援

地域に根付いた

地域の方々との交流
(陶芸教室、昔遊びなど)

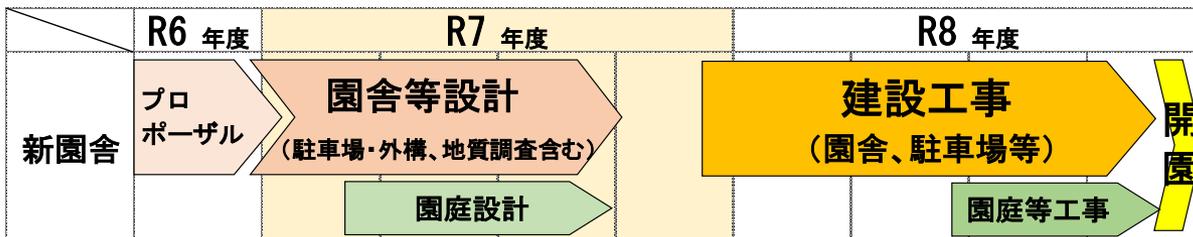


【新園舎の概要】

- ・構造：鉄骨2階
- ・延床面積：約1,300㎡
(敷地：約6,250㎡)
- ・定員：140人



事業工程(予定)



ICT活用環境を整備し、児童生徒の学びのアップデートや教職員の校務DXを推進しながら、教育活動の一層の高度化を目指していく。

① 児童生徒の学習用端末の更新等【5億5,440万円】

児童生徒の学習用端末の更新（義務教育諸学校、市立高校）
授業支援ソフトのクラウド化（義務教育諸学校）



② 校務のロケーションフリー化等を見据えたクラウド環境の整備【1,370万円】

校内無線環境や自宅からクラウドへアクセスできる環境に係る整備、教職員端末へのセキュリティ強化



③ AI学習ドリルと自動採点ソフトの導入、ダッシュボードを活用した的確な指導・支援【3,560万円】

個に応じた問題練習のためのAI学習ドリルと自動採点ソフトの導入、学習状況をダッシュボードで可視化



④ 教職員対象のICT活用研修（初級・中級） ICTインストラクターサポート【50万円】

教職員のICTリテラシーの向上と個々のニーズに応じた支援



電子カルテシステム整備費

予算額：13億5,000万円

電子カルテシステムを更新、安定した医療提供が可能な環境を構築

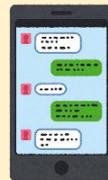
◆ 医療DX・セキュリティへの対応

- ・マイナンバー保険証の更なる活用
→ 処方・検査情報を参照しより良い医療を提供
- ・二要素認証によるセキュリティ向上
→ 電子カルテ利用時に顔認証システムを導入
- ・電子処方箋への対応



◆ 業務改善への取組

- ・AIの活用による医師の負担軽減
→ AIが医師の文書作成を補助
- ・職員間の連絡・情報共有機能を追加
→ グループウェアやチャットツールを活用
- ・仮想インターネットを導入
→ 電子カルテ端末でインターネットを安全に使用



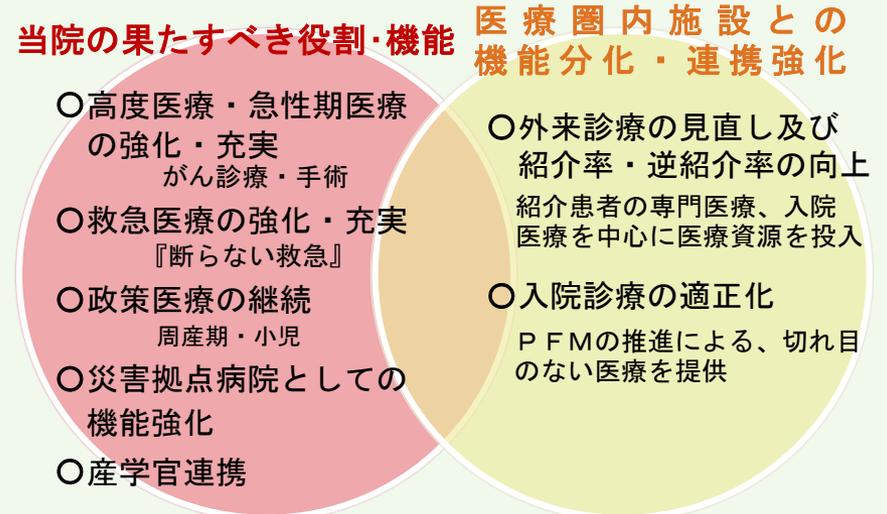
将来の新病院建設への移行に向けて、
外部データセンターを利用

新病院建設基本計画策定業務委託費

予算額：2,200万円

◆ 新病院の目指すべき将来像（案）

地域と「共に歩む」、南加賀の拠点病院



◆ 基本計画の検討内容

- ・ 部門別計画、施設整備計画 等





- ▶ 高齢に伴う健康不安
- ▶ 社会保障費増大と医療介護人材不足



健康増進・生きがいづくり
介護予防施策の重視



- ▶ 住み慣れた地域での健康で充実した生活
- ▶ 持続可能な医療介護体制

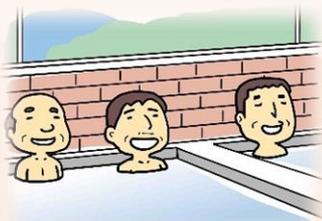
健康の増進と交流を促進

湯ったりシニアふれあい入浴事業

拡 事業費：1,100万円

市内5つの公衆浴場で利用できる入浴券の年間利用回数を15回から**20回**に増加

- 【対象者】 65歳以上の人
- 【内容】 公衆浴場の入浴料(490円)を一部助成
- 【助成額】 1回につき220円
(自己負担270円)



老人クラブ活動応援助成金 **拡** 事業費：200万円

温泉施設を利用した単位クラブの交流活動※に対して助成

- 【対象施設】 小松・加賀・能美市
- 【助成金額】 1,000円/人 (年間1回限り)

※宿泊を伴うものは除く

予防接種により疾病の重症化を予防

带状疱疹予防接種事業 **新** 事業費：4,917万円

R7年度から定期接種化 (予防接種法B類疾病に位置付)

【対象者】

- ・65歳の人
- ・70、75、80、85、90、95、100歳の人
(R7年度に限り100歳以上も対象) 等

【自己負担額】 (接種費用の約3割)

- ・生ワクチン 2,700円 (1回接種)
- ・不活化ワクチン 13,200円 (2回接種)



※R6年度任意接種費助成は、R7.3月末申請分まで対象

予防接種費の自己負担額を据え置き **抑**

高齢者予防接種 (インフルエンザ・肺炎球菌・新型コロナ) について
診療報酬改定に伴い自己負担額が増額

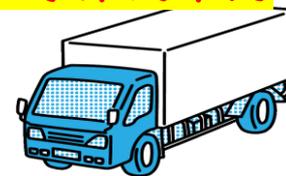
→物価高騰対策重点支援地方交付金を活用し、令和7年度に限り据え置き

原油価格高騰の影響を受けている市内事業者等の支援を実施します

▶貨物運送業者支援金

予算3,200万円

- ・対象 市内で貨物自動車運送事業（※宅配除く）を営む中小事業者及び個人事業者
- ・要件 令和6年5月～令和7年4月の期間中、**任意の連続した6ヶ月分の事業用車両**（※特殊自動車除く）**に係る燃料代**
- ・支援金 **購入燃料 5円/L**
- ・申請期間 令和7年4月14日～8月29日（予定）



▶旅客運送業者等支援金

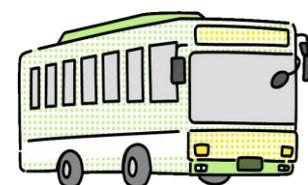
予算1,600万円

- ・対象
 - ①市内で貸切バス、タクシー、自動車運転代行業、一般廃棄物収集運搬業を営む中小事業者及び個人事業者
 - ②市内で社会福祉施設等を運営する事業者
- ・支援金 事業者用車両 **1万円～5万円/台**（※特殊自動車除く）

大型	中型	準中型	普通	軽自動車
5万円	4万円	3万円	2万円	1万円

※②の事業者は従業員の車両を事業用に使用している場合も対象

- ・申請期間 令和7年4月14日～8月29日（予定）



予算 令和4年8月大雨を踏まえた内水対策

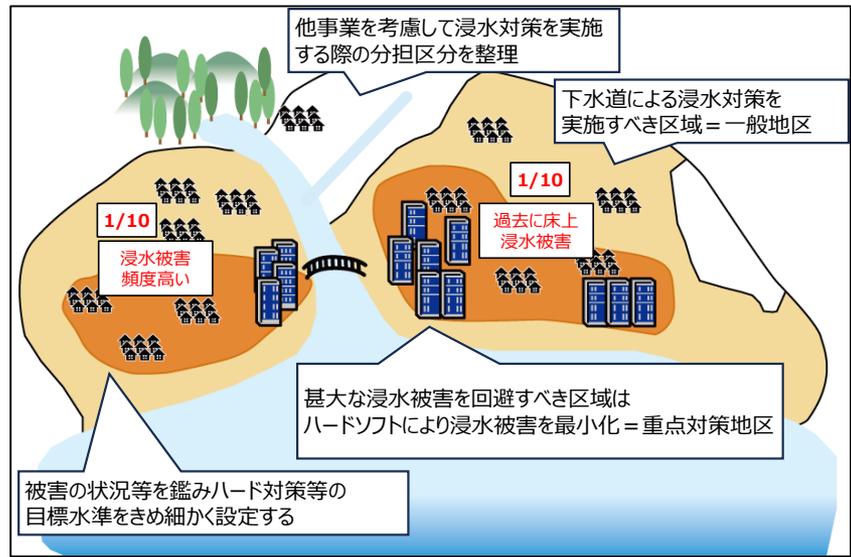
3月補正： 3,000万円
R7当初： 7億1,800万円

流域治水の考え方に基づく 内水対策の計画の策定

小松市雨水管理総合計画の策定

- ・ R6年度：雨水管理方針策定
- ・ R7年度：段階的対策計画策定

3月補正：
3,000万円



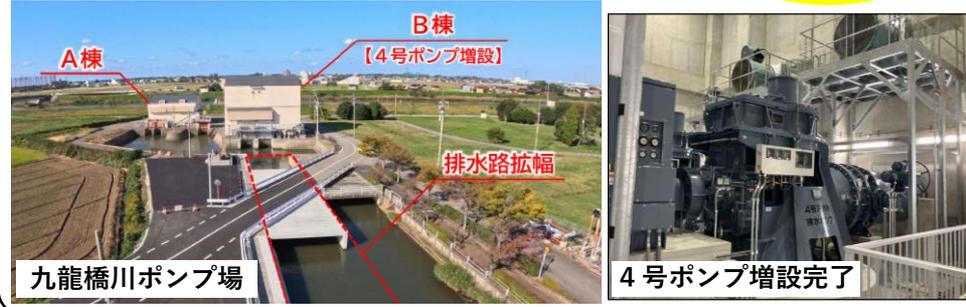
- 下水道による浸水対策を実施すべき区域 = 一般地区
- 重点対策地区
- 1/10 目標水準 (10年確率)
- 下水道整備を当面必要としない区域 (既存の排水施設がある)

限られた予算の中で、
令和4年8月大雨を踏まえた浸水対策を計画的に進めるため
雨水管理総合計画を令和7年度に策定

早期に効果が現れるハード対策を実施

九龍橋川排水区：排水ポンプの増強 (R6.10完成)

排水能力の向上 7.53m³/s ⇒ 11.56m³/s 約1.5倍



石橋川排水区：遊水地・導水路工事

予算額：
7億1,800万円

排水区全体の大雨による浸水被害を軽減するため、石橋川流末に集まる雨水を貯留する導水路と遊水地を整備します。

石橋川導水路工事

向本折町周辺冠水状況

R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	導水路工事		
			遊水地工事

予算

消防力の充実強化

～誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ～

予算額計：4億2,080万円

高機能消防指令システム整備費

予算額：3億9,730万円

～迅速・正確・操作性の高い最新モデル～

令和6・7年度
整備工事

令和8年春
運用開始



※イメージ図

整備効果

- ▶ 迅速な情報共有
- ▶ 救命率の向上・被害の軽減
- ▶ 市災害対策本部との連携

中消防署西出張所整備費

予算額：2,350万円



令和7年度
実施設計

令和8・9年度
整備工事

令和10年春
運用開始

全署所に救急車配備

全車(5台)24時間フル稼働

西出張所

東出張所

中消防署

南消防署

栗津温泉出張所



石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

歌舞伎をはじめとした伝統芸能，演劇，音楽等の芸術・文化の鑑賞や発表の機会を提供する本県を代表する劇場施設

- ▶ **開館から20年**が経過し設備関係を中心に**抜本的な更新が必要**
- ▶ 耐震強化のため，**大ホール等の天井の脱落防止対策**が必要



- ・安全・安心を確保し、長く使い続けるための計画的な予防保全
- ・新たな公演の誘致や利用率向上につなげるための舞台設備の機能向上

- 防水工事や空調を含む機械設備の更新
⇒ **施設の長寿命化**
- 吊物や音響・照明などの舞台設備の更新
⇒ **演出形態の多様化や高度化に対応**
- ワイヤー等による天井耐震改修
⇒ **鑑賞や避難所としての安全・安心を提供**



▶ 今後のスケジュール

令和7年度 = **実施設計**

令和8～9年度 = **大規模改修工事** (実施期間は今後検討)



予算

2025年大阪・関西万博への出展

予算額：730万円

小松九谷 と 井波彫刻 で魅せる 日本の新たな伝統工芸

ローカルジャパン展

富山県南砺市と共同出展し、両市の伝統工芸である九谷焼と井波彫刻の美しさ、技術の高さを広く国内外へ発信する

開催期間：令和7年7月28日（月）～31日（木）

会場：EXPOメッセ「WASSE」



小松九谷・井波彫刻 共同作品お披露目

期日：令和7年3月1日（土）・2日（日）

会場：九谷セラミックラボラトリー

大阪・関西万博 石川県催事

石川県が主催する「食文化・祭り」をテーマとした催事に参加

開催期間：令和7年8月27日（水）

会場：EXPOアリーナ「Matsuri」



大阪・関西万博
公式キャラクターミャクミャク
©Expo 2025

LOCAL
JAPAN
EXHIBITION

フューチャーライフエクスペリエンス

瀬戸市・多治見市・関市・南砺市・小松市が共同出展
九谷焼をはじめ中部地域の伝統工芸・技術を発信

開催期間：令和7年5月6日（火）～12日（月）

会場：フューチャーライフヴィレッジ

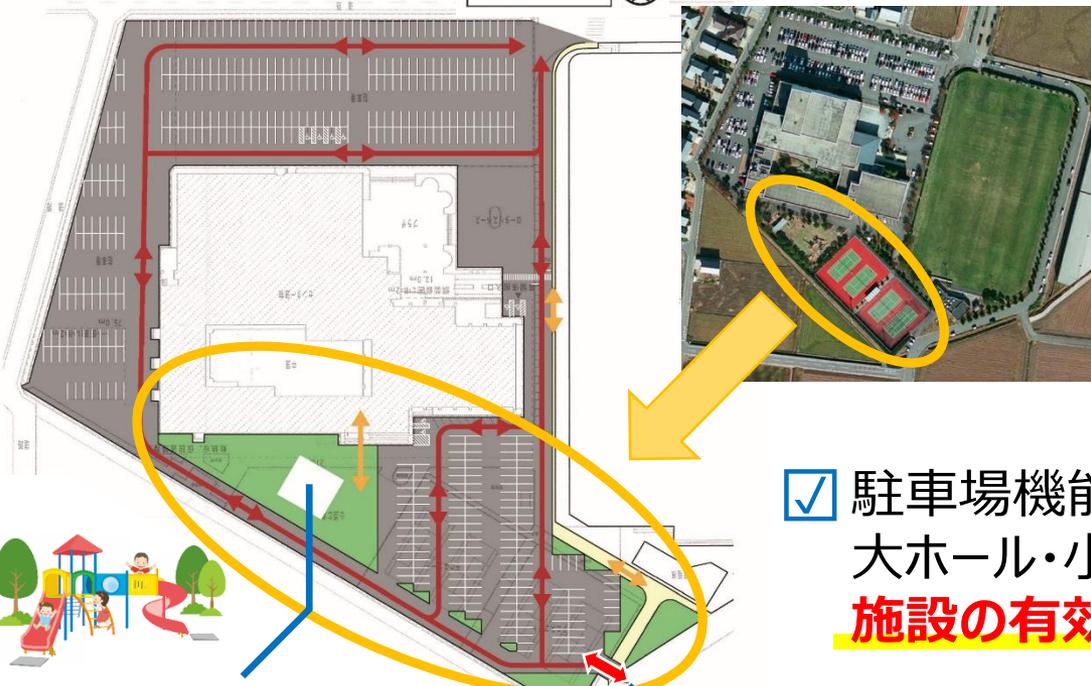


市民センター南側に**駐車場**を整備

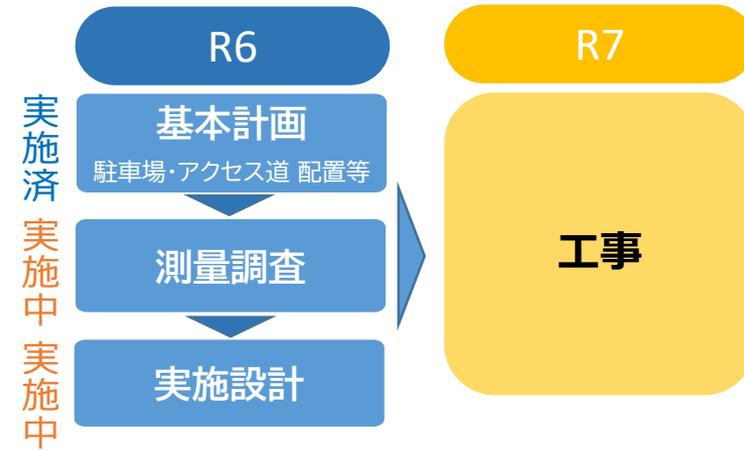
- 新たに**150台程度**の駐車スペースを確保 **約450台に**
- 利用しやすい**駐車場**を実現 **アクセス道と新たな進入路**
- **屋外広場の整備**も併せて実施 **遊具を更新**



整備イメージ



進捗・スケジュール



✓ 駐車場機能強化による
大ホール・小ホールの同時利用等
施設の有効活用を拡大



✓ 屋外遊具の更新による
北部児童センターの機能向上

✓ 南側に新たな進入路を整備し
出入りしやすい駐車場に

予算

市民と共に創る未来型図書館

～「小松の新時代の象徴」を目指し新たなステージへ～

予算額計：4億2,410万円
(債務負担行為：3,880万円)

【令和6年度】基本計画 (R7.3策定予定)

▶ 施設整備・管理運営・最適な事業手法など事業化への方針を策定

主要な機能と特徴

多面的な機能が「融合」する施設に



- 図書館** 想像力を沸き立たせる **テーマ配架**
- 博物館** 変化のある体験型 **企画展示**、**市民ギャラリー**
- 交流・くつろぎ** 多様な利用スタイルの **市民交流スペース**、**カフェ**
- 創造・共創** 活動を支える **ティーンズルーム**、**リビングラボ**

施設規模

約9,000㎡
(公会堂の約2倍)

概算事業費

【施設整備費】約86億円
※跡地整備等を含めた全体事業費は約90億円
(立体駐車場は引き続き検討)
【管理運営費】約4億3千万円/年

目標来館者数

40万人

事業手法

▶ PFI手法 (設計・建設・管理運営を一括性能発注)
(民間ノウハウの発揮、長期的に安定した事業運営が期待)



みんなで創り上げる未来型図書館は
まちづくりのキーステーションに

小松市2040年ビジョン

【令和7年度】事業者選定手続き・施設解体

PFIアドバイザー業務 (1,725万円 / R8債務負担3,880万円)

▶ 事業者の公募から契約までの手続きを円滑に推進
(実施方針・要求水準書・募集要項等の作成・審査委員会の運営等)

令和8年度に事業者決定・事業契約

既存施設の解体に着手 (3億9,200万円)

▶ **公会堂や博物館、教育研究センター**を先行解体
※現図書館は未来型図書館整備後に解体



リビングラボ・人材育成講座 (532万円)

▶ リビングラボによる対話と活動の推進・組織づくり
▶ 子ども司書に加え「**子ども学芸員**」の養成講座もスタート



関連計画作成及び基金積立 (3,940万円)

▶ 未来型図書館の整備を見据えた**公園全体の基本計画策定**
▶ 交通量増加の対応へ公園周辺の交差点解析
▶ 未来型図書館の備品購入のための基金積立

スケジュール

市制90周年

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
施設整備	事業者選定手続き	決定	設計・建設・開館準備			開館!
施設解体	◆公会堂・博物館 ◆教育研究センター					◆図書館

予算 条例 コンビニ交付の推進と窓口開庁時間変更

コンビニ交付推進費

予算額
230万円

コンビニ交付の手数料をさらに100円引き

6/1~

小松市手数料条例の一部を改正する条例

	窓口	現行	変更後
住民票の写し	300円	200円	100円
印鑑登録証明書	300円	200円	100円
戸籍（謄本・抄本）	450円	350円	250円
戸籍の附票の写し	300円	200円	100円
所得課税証明書	300円	200円	100円

南支所にもマルチコピー機を設置

便利さを体験。コンビニ交付をさらに推進していきます



小松市のマイナンバーカード
保有率：80.5%（1月末時点）

本庁・南支所の窓口開庁時間を変更

現行

市民課・南支所	8:30~18:30
本庁舎1階の市民課以外	8:30~17:15
本庁舎2階~7階	8:40~17:25

変更後

本庁・南支所 **9:00~17:00**

※市民課と南支所は、火・金曜日（通年）と、3月1日~4月30日は平日すべて~18:30

なぜ変更するのですか？

マイナンバーカードの普及により、コンビニ交付の件数がここ3年でおおよそ6倍に伸びている（R5年度コンビニ交付率：34.3%）など、市役所に来なくても手続きできる環境が整ってきています。

短縮された時間は、始業前の準備や閉庁後の事務処理のほか業務改善に充て、窓口DXをさらに推進し、市民サービス向上に取り組んでいきます。

国における国保制度の取り組み強化の方向性

県単位の安定的な財政運営の確保(平成30年度)

保険料水準の統一(目標年次:令和18年度)

〔県標準税率との差(令和6年度時点)
所得割2.35% 均等割7,791円 平等割△10,009円〕

国保税率の改正が必要

- ・県内の保険税の完全統一を見据えて
- ・適正な国保運営の維持・継続のため

小松市における国保運営の現状

①団塊世代が後期高齢者医療保険へ移行

➡国保被保険者数減少

②少子高齢化の進展・医療の高度化

➡一人当たり医療費が増加



	H26	R5	増減率
被保数	25,088人	16,618人	△33.8%
医療費	369,500円	464,347円	25.7%

区分		令和6年度	令和7年度	改正幅
基礎課税額 (0~74歳)	所得割	6.80%	7.00%	0.20%
	均等割	30,200円	30,600円	400円
	平等割	29,400円	28,700円	△700円
	賦課限度額	650,000円	650,000円	0円
後期高齢者 支援金課税額 (0~74歳)	所得割	2.00%	2.20%	0.20%
	均等割	9,300円	9,800円	500円
	平等割	8,800円	8,600円	△200円
	賦課限度額	220,000円	240,000円	20,000円
介護納付金 課税額 (40~64歳)	所得割	1.80%	1.90%	0.10%
	均等割	9,200円	9,900円	700円
	平等割	6,800円	6,700円	△100円
	賦課限度額	170,000円	170,000円	0円
合計	所得割	10.60%	11.10%	0.50%
	均等割	48,700円	50,300円	1,600円
	平等割	45,000円	44,000円	△1,000円
	賦課限度額	1,040,000円	1,060,000円	20,000円

10億突破

マーケティング強化を通してふるさと納税による寄附を増加させ、市の財源を拡大

CMO（最高マーケティング責任者）の就任

募集期間 12/10～1/6

応募者222人 ▶ 一次面接15人 ▶ 最終面接5人 ▶ 決定（4/1付就任予定）

- ▶ ふるさと納税推進に係る統括
- ▶ 寄附増額のための戦略・企画立案、施策の実行
- ▶ 地域関係者や国内パートナーとのネットワーク構築

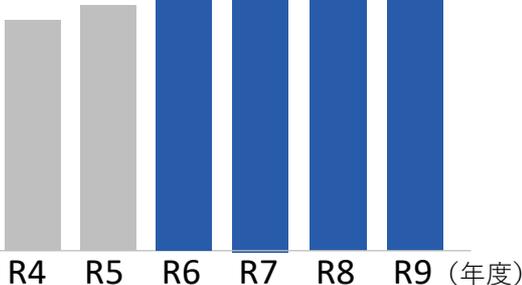


過去最高

3.4億
(見込み)

8億

6億



取り組み

- ▶ 市が主体的に新規事業者や新規返礼品を開拓
→ 令和9年度には返礼品数を1400点に
- ▶ 各ポータルサイトの訴求力向上
→ アクセス数 ↗ 寄附額 ↗
- ▶ ガバメントクラウドファンディングのさらなる活用
→ 応援したくなる自治体へ

令和6年度住民税非課税世帯へ給付金を支給

〔1〕 給付金

- 給付金額 1世帯あたり **3万円**を支給
- 対象世帯数 約8,800世帯（見込）
- 給付時期 令和7年2月28日～

2/ 5（水） 案内通知発送



2/28（金） **プッシュ型**の振込

2/28（金）以降 **確認書による世帯**
順次支給

〔2〕 こども加算

- 給付金額 18歳以下のこども1人あたり
2万円を追加支給
- 対象児童数 約1,300人（見込）
- 給付時期 令和7年3月下旬～

3月上旬 案内通知発送



3月下旬 **プッシュ型**の振込

4月以降 **確認書による世帯**
順次支給